

デフネットながの通信

前年に引き続いてコロナ禍の令和3年でしたが、デフネットながので計画していた聴覚障害者教養講座や登録通訳者現任研修は、遠隔も併用するなど工夫しながら全て実施することができました。特に10月以降は感染状況が落ち着いてきたため、完全集合型での開催ができました。

◆聴覚障害者教養講座③10/17「長野市防災ナビについて」 ※聴覚障害者福祉推進委員会企画として開催 **（長野市危機管理防災課）**

防災アプリ「長野市防災ナビ」は令和3年4月から開始され、これまで音声情報だけだった防災行政無線を、スマホに文字で受け取ることができるようになりました。長い間、市聴障協と手話サークルが市に要望してきた「災害情報を目に見える方法で発信してほしい」という願いが、ようやく形となりました。

参加者には自宅でアプリを入れてきてもらったり、開始前にスタッフがダウンロードを手伝うなどして、説明を見ながら自分のスマホも同様の操作ができるよう工夫しました。



【防災アプリのおすすめ機能】

- ・「防災行政無線」… 避難情報などを文字で見ることができる（※）
 ※緊急時に野外スピーカーで流れる避難指示などの情報と同じ内容が文字になっています。知りたい地域を指定すると、情報が受け取れます。
- ・「避難所検索」… 自分が居る場所から近い避難所を地図上に記し、道順を調べることができる。
 （ただし、どの避難所が開いているかは、避難情報を確認してください）
- ・「安否登録」… 災害が起きた時、自分の居る場所と安否を登録することができる。家族や知り合いが名前を検索すればその情報を見ることができる。



座席は前後左右1mずつ間隔をあけました。実際のスマホ画面をスクリーンに映して説明いただいたので、自分のスマホ画面と見比べた上での質問もできました。

避難情報は、はなしことばの文章で表記されるので、わかりにくいと思うかもしれません。長野市の防災アプリでいち早く情報をキャッチし、詳細は自分のお気に入りのサイトを見て確認するのもよいでしょう。

このようなアプリは完成して終わりではありません。実際に使った人が、改善を望む声をたくさん届ければ、バージョンアップを期待できるかも。



アプリを入れたい方は…

危機管理防災課のHPから防災アプリのダウンロード画面に入れます →



大切な避難情報の説明もしていただきました！

重要!

警戒レベル
4

令和3年5月20日から

ひなんしじ
避難指示で**必ず避難**

ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は切迫	きんきゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~			
<b>4</b>	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示</b> ※2	•避難指示(緊急) •避難勧告
<b>3</b>	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b> ※3	<b>避難準備・ 高齢者等避難開始</b>
<b>2</b>	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
<b>1</b>	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
**警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待つてはいけません!**

**避難勧告は廃止**されます。  
これからは、  
**警戒レベル4避難指示**で  
**危険な場所から全員避難**  
しましょう。

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
**警戒レベル3高齢者等避難**で  
**危険な場所から避難**  
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁

# 家族が集まる機会に話し合ってみよう！



ひなん  
「避難」って  
何すれば  
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけ  
が避難ではありません。  
「避難」とは「難」を「避」けること。  
下の4つの行動があります。



## 行政が指定した避難場所 への立退き避難

自ら携行するもの  
・マスク  
・消毒液  
・体温計  
・スリッパ 等

小・中学校  
公民館

## 安全な親戚・知人宅 への立退き避難

普段から災害時に避難  
することを相談して  
おきましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。



普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

## 安全なホテル・旅館 への立退き避難

通常の宿泊料が必要  
です。事前に予約・  
確認しましょう。

※ハザードマップで安全か  
どうかを確認しましょう。

ホテル  
旅館

## 屋内安全確保

ハザードマップで以下の  
「3つの条件」を確認し  
自宅にいても大丈夫かを  
確認する必要があります。

——— 想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある  
区域では立退き避難が  
原則です。



「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない  
(入っていると…)



流速が速いため、  
木造家屋は倒壊する  
おそれがあります

地面が削られ家屋は  
建物ごと崩落する  
おそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、  
水・食糧などの備えが十分  
(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になる  
ほか、電気、ガス、水道、トイレ等の  
使用ができなくなるおそれがあります

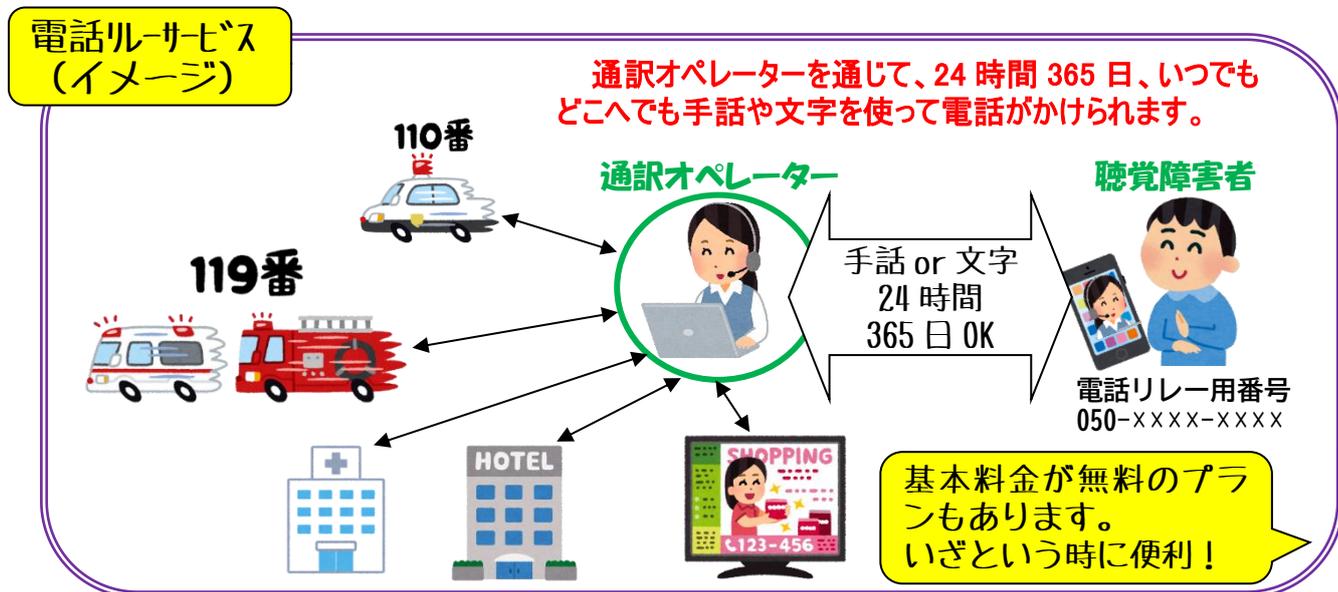


※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住いの市町村へお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認して下さい。

◆聴覚障害者教養講座④ 12/5「電話リレーサービスって？」  
 (長野県聴覚障がい者情報センター職員:伊藤さん)

電話リレーサービスは令和3年7月から国の事業になったことに伴い、「24時間365日利用できる」「警察や消防にも緊急通報できる」「聞こえない人も電話を受けることができる」ように変わりました。グッと便利に使えるようになった電話リレーサービスについて、情報センター職員の伊藤さんにわかりやすく説明していただきました。



【電話のマナー】

- ▶かける時間に注意(相手の都合を考えよう) ▶オペレーターの指名や伝言は×
  - ▶かけたときは必ず名乗る ▶わかりやすい表現を(※) ▶画面から黙って消えないこと
  - ▶オペレーターは友人ではないので、個人的なことは尋ねないこと
- ※手話ははっきりわかりやすく表現。地名など伝わりにくいことは書いて見せる工夫があると良い。

サービスを利用するためにはアプリをダウンロードし、登録が必要です。

【スマホからの登録は簡単！3ステップ♪】

- ①アプリ「電話リレーサービス」をダウンロード
- ②必要事項を入力 (スマホの電話番号とメールアドレスはメモしておくとうい)
- ③身障手帳の写真を撮って添付

「日本財団電話リレーサービス」の公式HPで登録や利用方法の手話動画を見ることができます。

当日配付した伊藤さん作成のわかりやすい資料もデフネットにあります。



説明後は、ほとんどの人がそのまま残り、伊藤さんやスタッフの力を借りながら利用登録をしました。

令和4年も細心の注意を払いながら、皆さんに「参加して良かった」と思ってもらえる行事を企画・開催していきたいと思ひます。

～長野市在住の聞こえない方へ～

今後、デフネットながのからのお知らせを直接受け取りたい方は、お申し込みください。(メール・FAX・郵送の選択可)



メールでも  
申込みOK